

## 令和4年度 学校関係者評価報告書

公益財団法人積善会 積善会看護専門学校 学校関係者評価委員会は、令和4年5月11日(水)に「令和3年度自己点検・自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下の通り報告します。

令和4年5月25日  
公益財団法人積善会  
積善会看護専門学校  
学校関係者評価委員会

### 1 学校関係者評価委員会

#### <評価委員> (2名)

- ・本校講師 (担当科目: 公衆衛生学、保健医療論)
- ・実習病院 看護部長、本校卒業生

#### <学内> (5名)

- ・積善会看護専門学校 校長
- ・積善会看護専門学校 事務長 (学校関係者評価委員会 委員長)
- ・積善会看護専門学校 教務主任 (自己点検・自己評価委員会 委員長)
- ・積善会看護専門学校 専任教員 (自己点検・自己評価委員) 2名

### 2 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
I 教育理念・目標	・特に問題なし
II 学校運営	・司書の配置については引き続き課題だが、リクエストボックスを設ける等、学習意欲を高める取り組みをしているため評価できる。 ・発生状況を変えた防災訓練はコロナの影響で実施が出来なかったため次年度の課題とする。
III 教育活動	・講師の希望を取り入れた時間割を組んでいるが、授業の順序性に影響する場合があります、講師にも順序性について説明し協力を得る必要性も検討した方がよい。 ・教職員に対する職場内研修はコロナ禍のため実施出来ていない状況がある。
IV 学生支援	・スクールカウンセラーの設置は出来なかったが、教員が相談にのっており、学生の満足度も高い。また、次年度に向けスクールカウンセラーの確保がされ改善されているため、「適切」と評価された。
V 学生の受け入れ	・アドミッションポリシーが明文化され改善されている。

VI地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 近隣の方々や他教育機関に看護の役割や重要性、また看護学校を知ってもらえる地域貢献の方法を検討する。</li> <li>• 「地域内における諸資源を学習・教育活動に取り入れている」のが、老年看護学実習の梅まつりだが、梅まつり以外にも既存の設備、仕組みを利用して視野を広げ、計画を立案・実施の検討をする。</li> </ul>
VII研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新型コロナウイルス感染症の影響から、研究活動や研修の参加が制限された。</li> </ul>

#### <総評>

前年度の課題を意識して全体的には取り組んでいる。

学生に寄り添った環境の配慮がされている、速やかに必要な事に対応していると感じた。多くの項目に対し、結果がまとめられており、調査したデータを元に分析もされているという評価が得られた。